

末松信介・自民党水産部会長に聞く(上)

政権政党に復帰し、水産政策の立案・推進をしていく自民党水産部会。その部会長に昨年末、末松信介参院議員(兵庫選挙区Ⅱ写真)が就任した。折しも平成25年度予算審議、震災復興対策など緊急の政策課題が目白押し。このため活発に水産部会を開催し、積極的に持続可能な強い水産業の確立に向けた検討を行っている。そこで、末松部会長に水産に対する思いを聞いた。(有村)

末松先生は魚料理 つか、いちばん好きなか。酒のさかなにはどんなことですか。それと、サしたので、特産のチリメ品ばかりが売られているしてはいます。

末松部会長 サンマ しょうね。子供のころは類は何でも食べます。

「ワタ」のところは苦手 食べます。

最近の魚離れの魚離れ や、魚料理が苦手、若い女性が包丁ので、包丁で魚を捌いた費を上回りましたが、先

末松部会長 どちら

末松部会長 どちら

末松部会長 どちら

魚大好き、中でもサンマが好き

魚料理で豊かな食事風景

末松部会長 サンマ しょうね。子供のころは類は何でも食べます。

「ワタ」のところは苦手 食べます。

最近の魚離れの魚離れ や、魚料理が苦手、若い女性が包丁ので、包丁で魚を捌いた費を上回りましたが、先

末松部会長 どちら

末松部会長 どちら

末松部会長 どちら



末松部会長 サンマ しょうね。子供のころは類は何でも食べます。

「ワタ」のところは苦手 食べます。

最近の魚離れの魚離れ や、魚料理が苦手、若い女性が包丁ので、包丁で魚を捌いた費を上回りましたが、先

末松部会長 どちら

末松部会長 どちら

末松部会長 どちら

多様な生態系でできる水質管理を

湾、大阪湾のように閉鎖り、昨今、栄養塩と漁獲量の関係について、因果関係はないとの見解もある。このように、栄養塩の必要性については、将来の予測が可成り難しく、さまざまな意見があり、もう少し漁獲量と栄養塩の相関性について、時間をかけて調査する必要があるでしょう。

水質管理は、海だけの問題ではなく、治山対策や川の水質管理など、総合的な連携が重要であり、過去の総量規制や水質保全対策から一定の効果を得られた現在、目指すべきことは、湾や沿岸ごと、季節ごとの状況に応じた生態系づくり、つまり、円滑に物質が循環することだと考えています。

里海づくりを目標の一つとして、美しい海を、豊かな海としたい。1986年をピークに、漁獲量87万7000トンから、2004年にはな視念にしたいと思